**注）本頁は、申請書の表紙（１頁目）です。**

**２社以上の連名で申請する場合は、本頁を各社ごとに作成ください。**

様式４

（３Ｒ技術・装置

　　・システム開発）

**注）本頁中の注釈【注）で始まる文章】は申請の際にすべて削除ください。**

秘

　　　　　　資源循環技術・システム表彰申請書（奨励賞）

注）奨励賞にご応募の場合にのみ付記してください。↑

平成　　年 月 日

一般社団法人産業環境管理協会　御中

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| （ふりがな）  ①会社名又は事業所名 | （印） | | | | | | |
| ②〒、所在地、電話番号 |  | | | | | | |
| （ふりがな）  ③代表者　役職、氏名 | （印） | | | | | | |
| ④資本金又は基本財産 | 百万円 | ⑤従業員数 | | 人 | ⑥出荷額 | 百万円／年 | |
| （ふりがな）  ⑦連絡者　所属部署、役職、  氏名、住所、電話番号、  ＦＡＸ番号、〒、ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ | 電 話  　　　　　　　　　　　　　　　　ＦＡＸ  　　　　　　　　　　　　　　　　E-mail  〒、住所*（②の〒所在地と同じ場合は省略可）* | | | | | | |
| ⑧申請テーマ名（ふりがな）  *（申請内容を端的に表現する*  *テーマ名を付けてください）* |  | | | | | | |
| ⑨対象副産物・廃棄物名 |  | | ⑩装置の処理能力 | | | | ｔ／Ｈ  （ｔ／月） |
| ⑪技術・装置・システムの  販売基数(または普及件数) | 基  （件） | | ⑫技術・装置・システムの販売額  （または評価額） | | | | 万円／年 |
| ⑬技術・装置・システムの  　開発に要した人数×年 | 人×　　年 | | ⑭技術・装置・システムの開発に要した経費 | | | | 万円 |
| ⑮事業開始年月（※１） |  | | ⑯事業継続年数（※２） | | | |  |
| ⑰本制度に係る過去の表彰  　実績*（受賞年度、賞の種類*） |  | | ⑱他の制度による  過去の表彰実績  （*名称、受賞年度，*  *賞の種類）* | | | |  |
| ⑲所属団体名 |  | | ⑳本表彰の募集を何で知りましたか*(具体的に)* | | | |  |
| 申請内容、関連事項の公表実績*（ホームページ名称・URL、出版物名等）* |  | |  | | | |  |

※１　当該技術・装置・システムの第一号機が納入された時点をもって事業開始年月とします。

※２ 第一号機の納入時点から数えた継続年数をいいます。

**注）本頁は、本文（２頁目以降）記述要領の説明です。**

**以下の項目について、申請テーマの事業内容とその特徴を記述ください。**

**該当なしの場合は、「該当なし」と記述ください。**

**また、追加項目があれば、追加ください。**

**注）本頁中の注釈【注）で始まる文章】は申請の際にすべて削除ください。**

**本文の構成**

１．要旨

２．副産物・廃棄物について

注）副産物・廃棄物の名称、どこから出る副産物・廃棄物か、数量、形態、特徴等（図絵等を用いて記述）

３．当該技術・装置・システム開発以前の処理方法

注）フローシート、図絵等を用いて記述

４．当該技術・装置・システムの特長（２社以上の連名の場合は、各社の役割分担が判るように記述）

(1) リサイクル（又はリデュース、リユース）工程の説明及び機器構成

注）図絵等を用いて記述

(2) 技術・装置・システムのポイント、独創性、新規性、他の技術・装置・システムとの相違点

注）図絵等を用いて記述**⇒　重要**

(3) 特許等の有無

５．当該技術・装置・システムの有効性

　(1) 原料廃棄物（又は使用済み物品）の処理能力

(2) リサイクル（又はリユース）製品の生産能力

(3) 耐久性、信頼性

(4) 操作性、維持管理性、安全性

　(5) リサイクル（又はリユース）製品の品質等

　(6) 二次公害防止のための対策

６．当該技術・装置・システムのコスト計算

７．当該技術・装置・システムの効果

　(1) 廃棄物の減量効果

　(2) 省資源・省エネルギー効果

　(3) 環境保全・ＣＯ2削減効果

　(4) 経済効果

　(5) 波及効果

　(6) その他の効果

８．再資源化技術・装置・システムの納入実績、稼動状況

９．当該技術・装置・システムの普及動向

　(1) 今後の普及に係る問題点と対応策

　(2) 将来構想